

産官学の期待に応えていくために

一般社団法人日本ヒーブ協議会

関西支部長 辻 美智子

あけましておめでとうございます。

令和6年の新年を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。旧年中は、日本ヒーブ協議会に対し皆さまより多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は節目である創設45周年の完走に向けて、会員がよりいっそう一丸となり「ヒーブ Innovation シリーズ」に取り組んだ1年だったと思います。月例研究会のテーマも、生活者と経営者、どちらの視点もあわせ持った内容で開催のうえ、多方面から消費者志向経営について学び、その実践に資する活動をおこなうことができた、非常に意義のある1年でした。

そうした中、2023年度も関西支部で独自

におこなっている「大学での講義」や「自治体への委員派遣」「Z世代向けの消費者教育」に関わることができました。特に神戸学院大学・関西学院大学での講義は10年を超えており、日頃より日本ヒーブ協議会をご支援くださっている各団体様に感謝しながら、そのお声を励みに今後も新しい価値を自ら創造し実践できる人財の育成に全力で取り組んでまいります。

また、11月度のACAP西日本支部様との合同例会では、大阪・関西万博をテーマに、生活者視点で日ごろから自分たちができる行動変容は何かを考える機会を設けることができました。

関西支部でおこなっているZ世代向けの

消費者教育が、すでに企業で働く方だけでなく、こういったところでも将来のリーダーたちに活かされていくことを切に願います。

さて、2024年の干支は「辰」になります。「辰」は十二支の中で、唯一架空の生き物であるため、その特別性から様々な伝説や縁起の良さが結びつき、成長と成功に満ちた一年になると言われています。まさに日本ヒーブ協議会の会員一人ひとりが、この5年で積み上げてきた多様性のつぼみを満開にし、産官学三位一体の「デザイン型共創社会」の実現にむけて、イノベーションを起こす役割を果たしてまいります。

そのためには、創設45周年をしっかりと締めくくり、2024年度はあらたなメッセージを出しながら、これまで以上にスピード感を持って社会課題に取り組んでいく所存ですので、引き続きみなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、ここに寄稿されているすべての団体様の今年一年のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。